



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

2013年12月27日

第54回おきぎん企業動向調査 (2013年10~12月期) 調査結果

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

第54回おきぎん企業動向調査(2013年10～12月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2014年1～3月期見通し)～

I. はじめに

1. 調査の結果

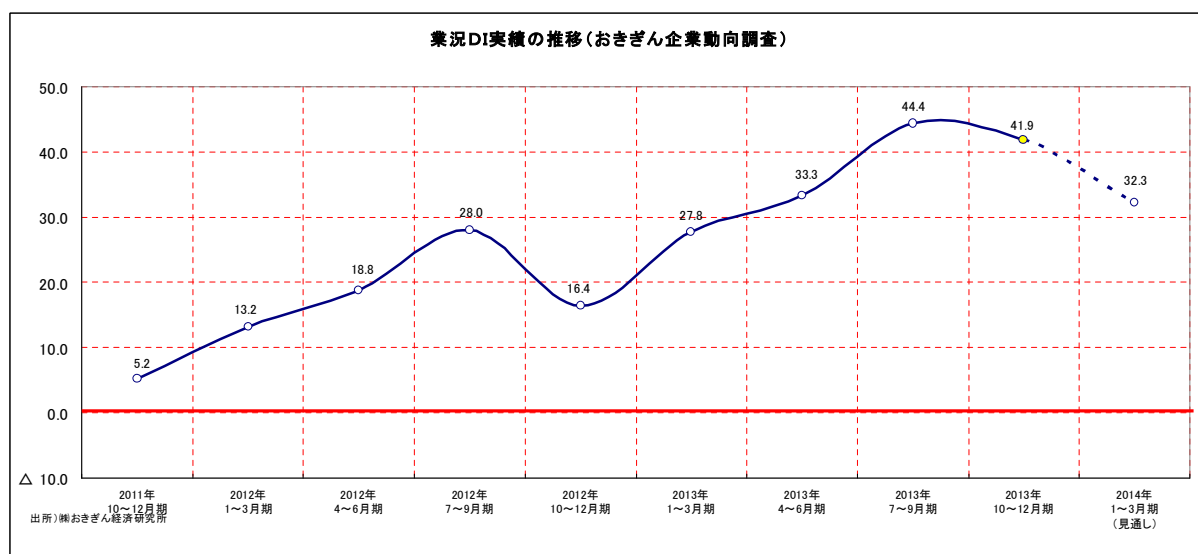
業況DIの推移

期間・結果	2012年		2013年				2014年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期(見通し)	
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI	
全業種計	16.4	27.8	33.3	44.4	41.9	32.3	
製造業	21.7	20.0	28.3	40.0	43.5	21.7	
土木業	33.3	59.1	31.6	41.7	30.0	55.6	
建築業	22.2	33.3	39.5	50.0	61.6	41.1	
卸売業	19.2	22.1	27.7	39.8	38.1	38.1	
小売業	20.0	12.5	36.1	38.5	27.3	24.2	
情報通信サービス業	0.0	40.0	55.6	36.4	22.2	22.2	
医療・福祉	20.0	14.8	22.7	36.7	31.0	31.0	
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△2.8	38.2	35.1	61.4	42.2	17.4	
その他(不動産、運輸等)	7.8	35.6	33.8	46.9	48.6	36.8	

2013年10～12月期調査の業況DIは41.9(前年同期比)となりました。

業種別でみると、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他サービス業】、【その他】の全ての業種で「業況改善の動き」がみられます。

2014年1～3月期の業況見通しDIについては32.3となり、全業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2013年11月下旬～12月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 444社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価
⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等) ⑦雇用
⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

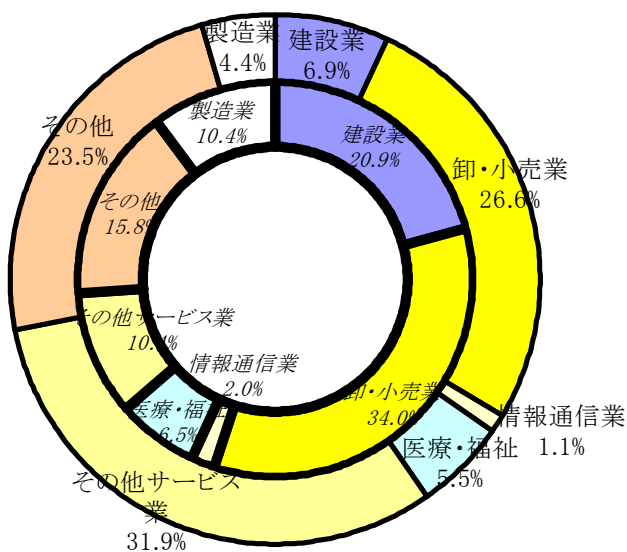
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、**DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)**といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

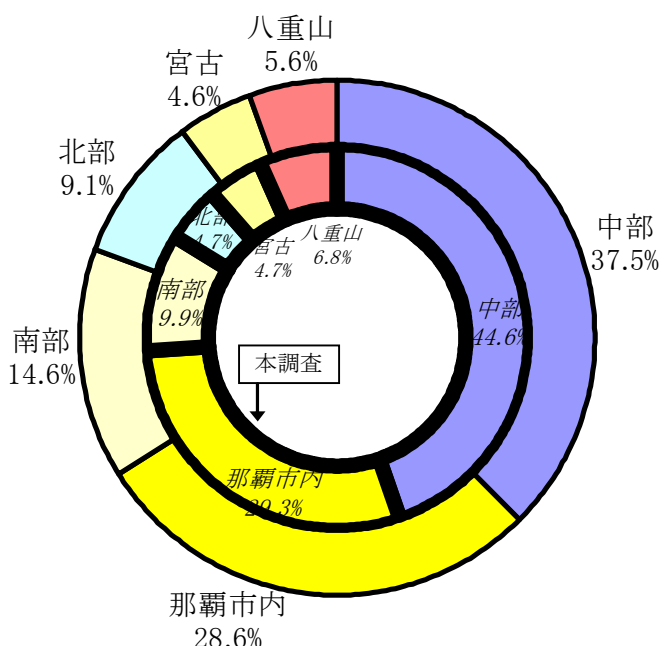
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2009年経済センサス基礎調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、本調査の事業所所在地構成(内円)



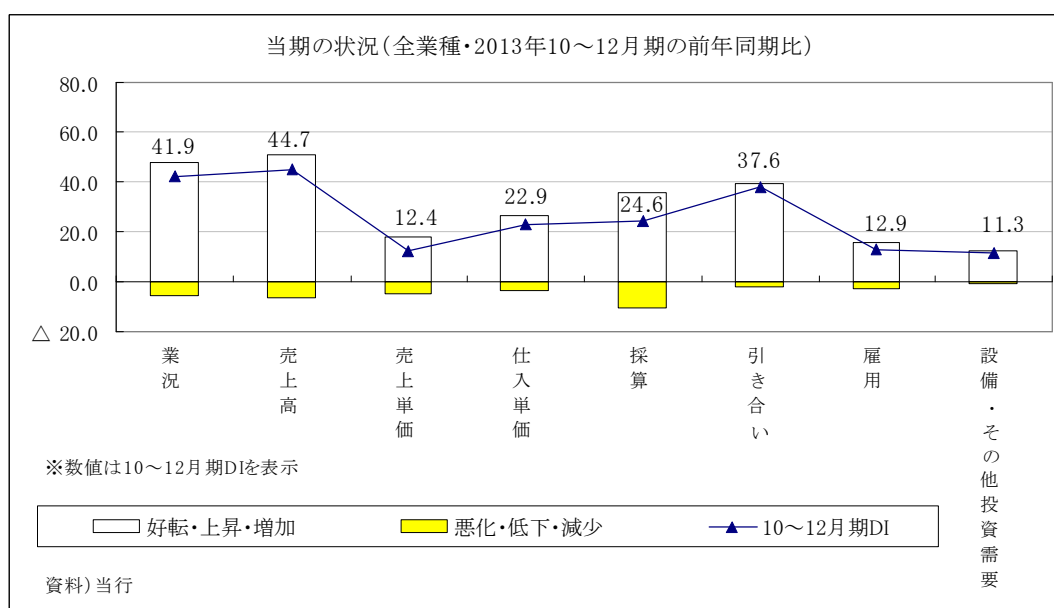
資料)総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎんDI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

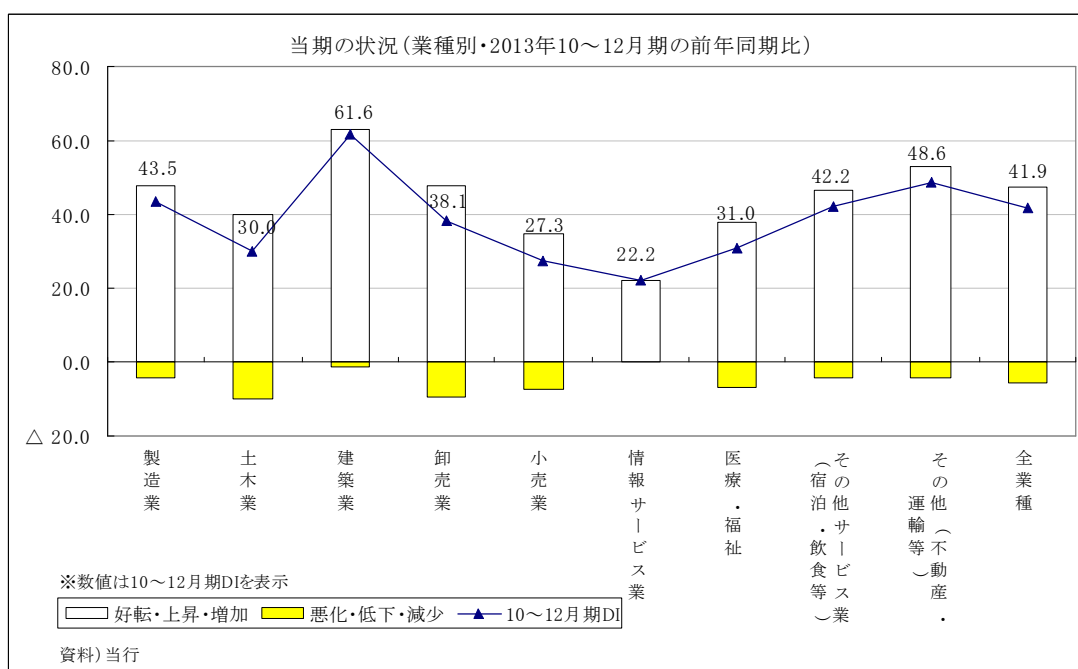
a. ①当期の状況(項目別・2013年10～12月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、前年同期比では一部の業種で円安や原油価格高騰の影響により仕入単価(22.9)が上昇しているものの、全体では売上高(44.7)や引き合い(37.6)が増加しており、全ての項目で改善しています。全体として**業況(41.9)改善の動き**がみられます。



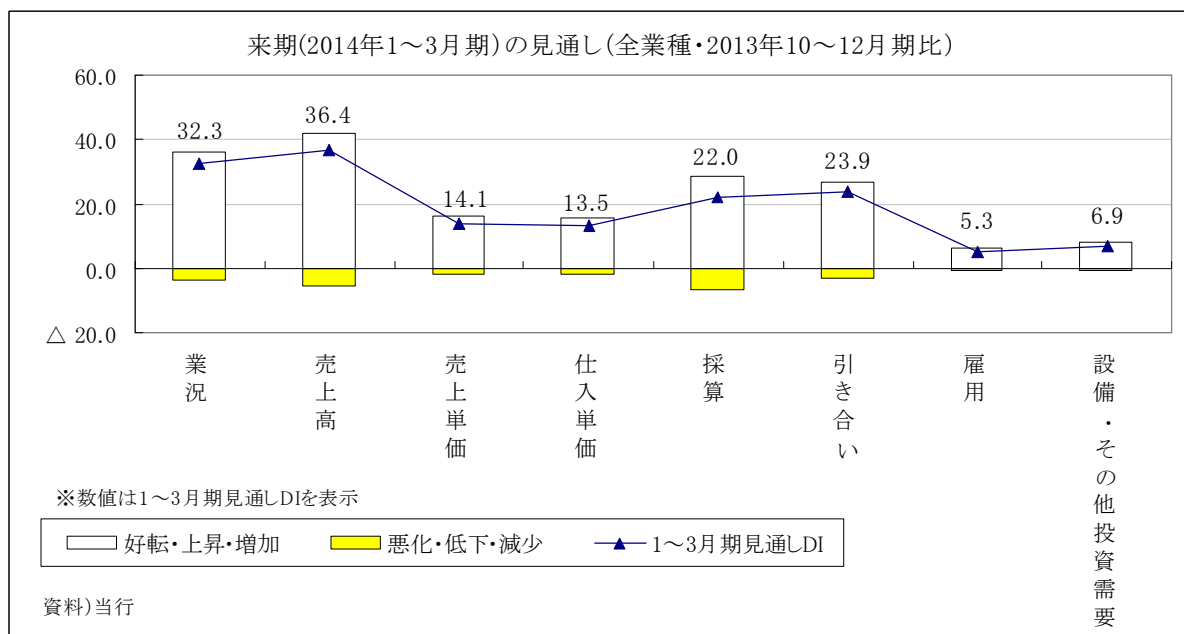
a. ②当期の状況(業種別・2013年10～12月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、今期は、消費税増税前の駆け込み需要などにより民間工事受注が増加していることから、【**建築業**】(61.6)や【**その他**】(48.6)などが大幅に改善しています。また、観光客の増加などにより【**その他サービス業**】(42.2)も大幅に改善しており、全ての業種において**業況改善の動き**となりました。



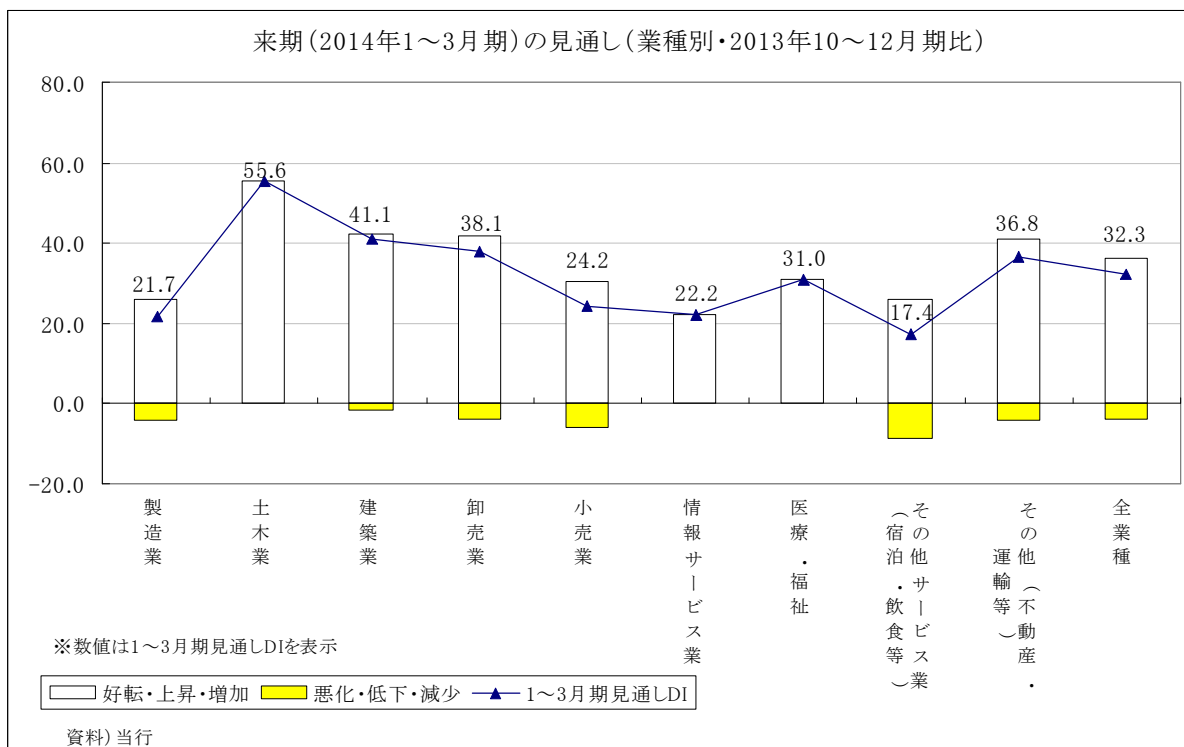
b.①来期の見通し(項目別・2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

来期(2014年1～3月期)の見通しDIを項目別でみると、年度末にかけての建設工事増加が見込まれるほか、消費税増税前の駆け込み需要などによる消費活発化も期待され、売上高(36.4)をはじめ、採算(22.0)、引き合い(23.9)など全ての項目でプラスとなり、全体(業況:32.3)として**業況改善の動き**が見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

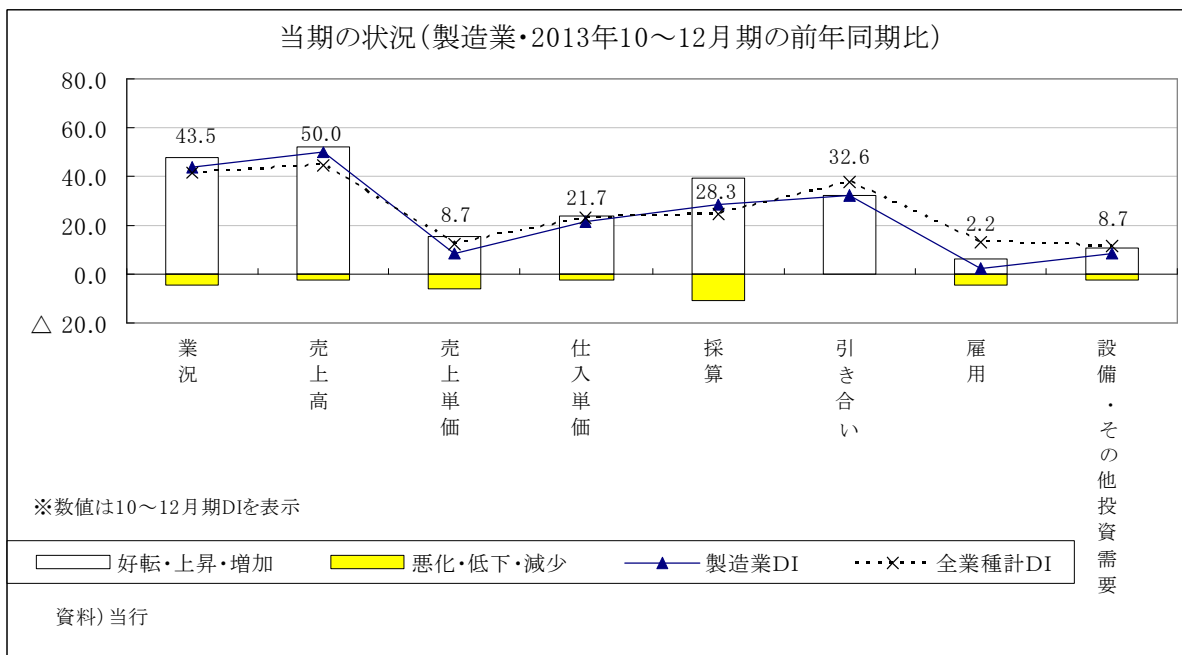
来期(2014年1～3月期)の見通しDIを業種別でみると、【土木業】(55.6)、【建築業】(41.1)、【卸売業】(38.1)、【その他】(36.8)などが全体DIを上回る業況の強さを見込み、全ての業種において**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

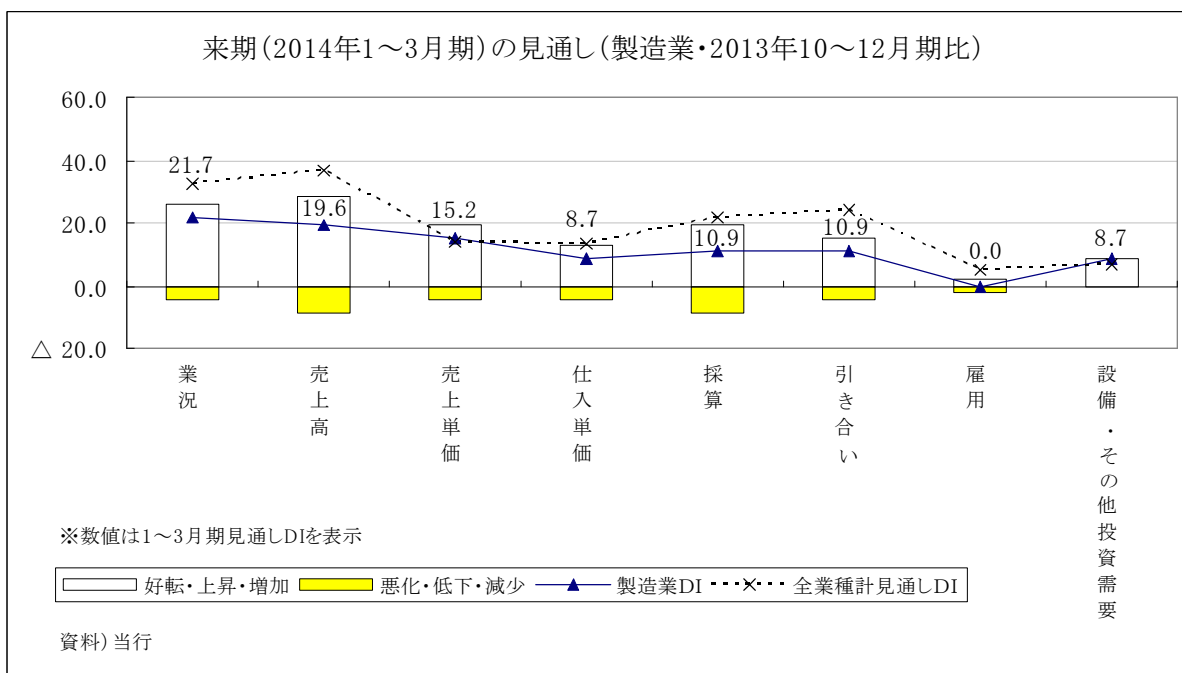
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【製造業】DI をみると、公共・民間工事の増加などにより、生コン製造業などにおいて売上高や引き合いが増加し、採算なども改善しています。また、泡盛製造業などにおいても年末に向けた需要(忘年会、お歳暮等)の堅調さがみられ、製造業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

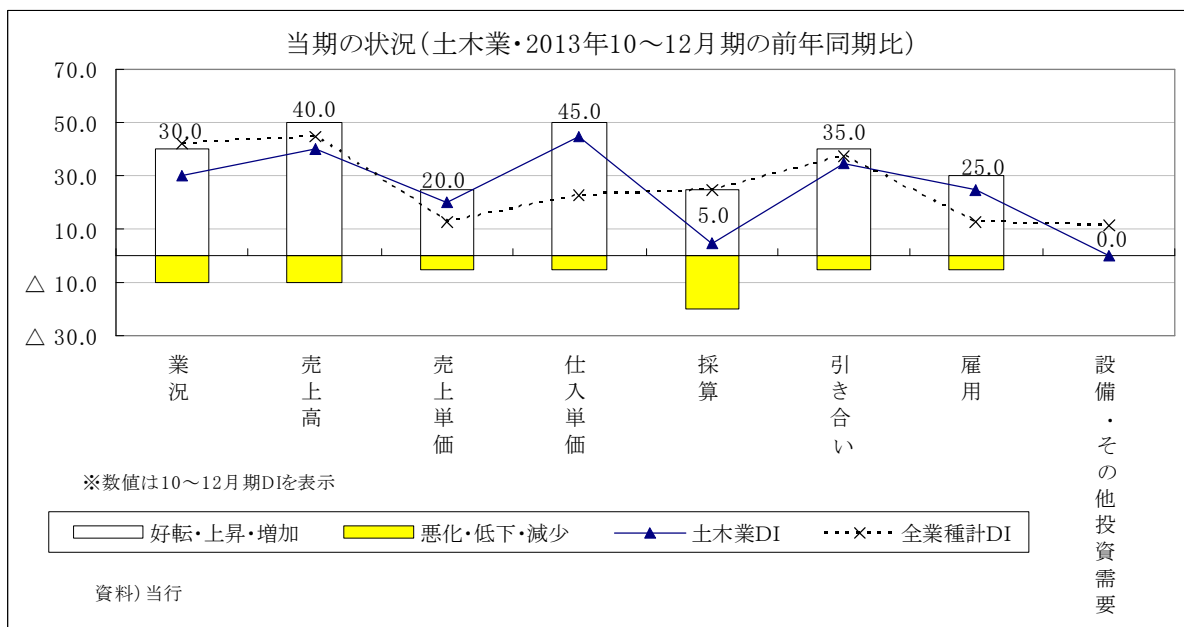
来期の見通し【製造業】DI をみると、年度末に向けた工事増加などにより生コン・セメント製造業において引き合いの強さが見込まれます。また、観光客の増加などにより食料品製造業、琉球ガラス製造業においても売上高の増加が期待され、製造業全体として**業況改善の動き**がみられます。



3. 土木業

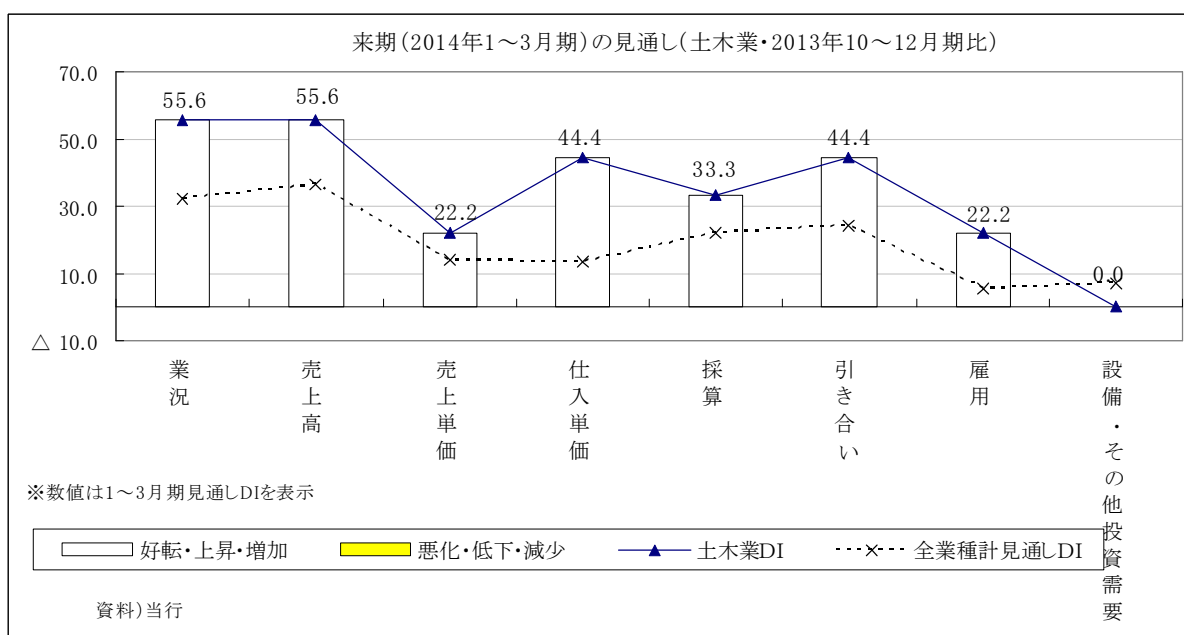
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、公共工事の受注が増加していることなどから、売上高や引き合いが改善しているほか、雇用も増加しています。しかし、一部では外注費や資材価格の単価上昇等により採算が悪化している事業者もみられます。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

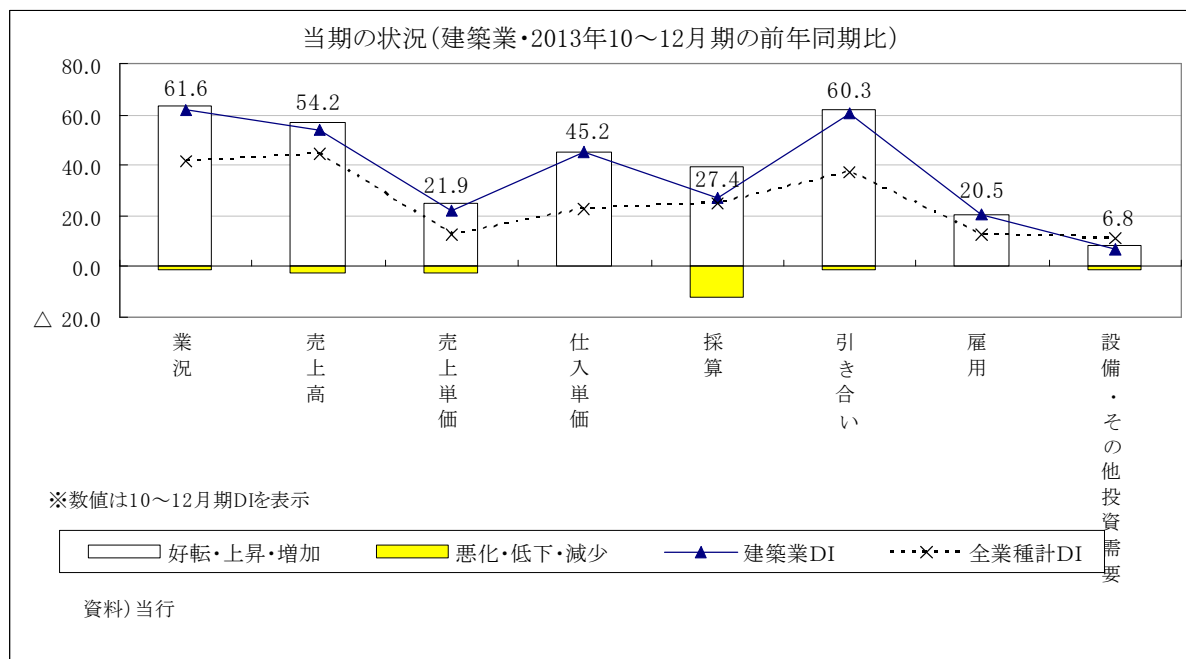
来期の見通し【土木業】DIをみると、年度末にかけての公共工事発注の増加を見込み、売上高、引き合い、採算などの改善が期待されます。一方で、来期も仕入単価の上昇が見込まれるほか、一部では人員不足を懸念する事業者もみられます。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



4. 建築業

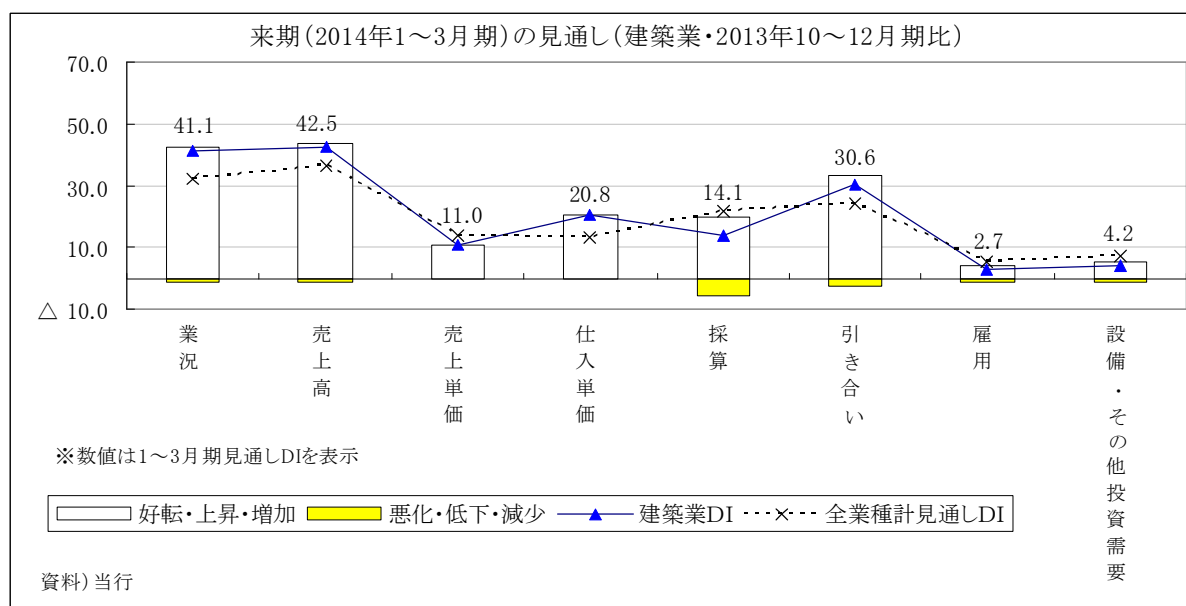
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、消費税増税を見越した住宅やアパート等の民間工事の引き合いが増加しており、売上高、採算ともに改善しています。公共工事の受注増加もみられるほか、電気工事業においては太陽光発電に関する工事も増加しており、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

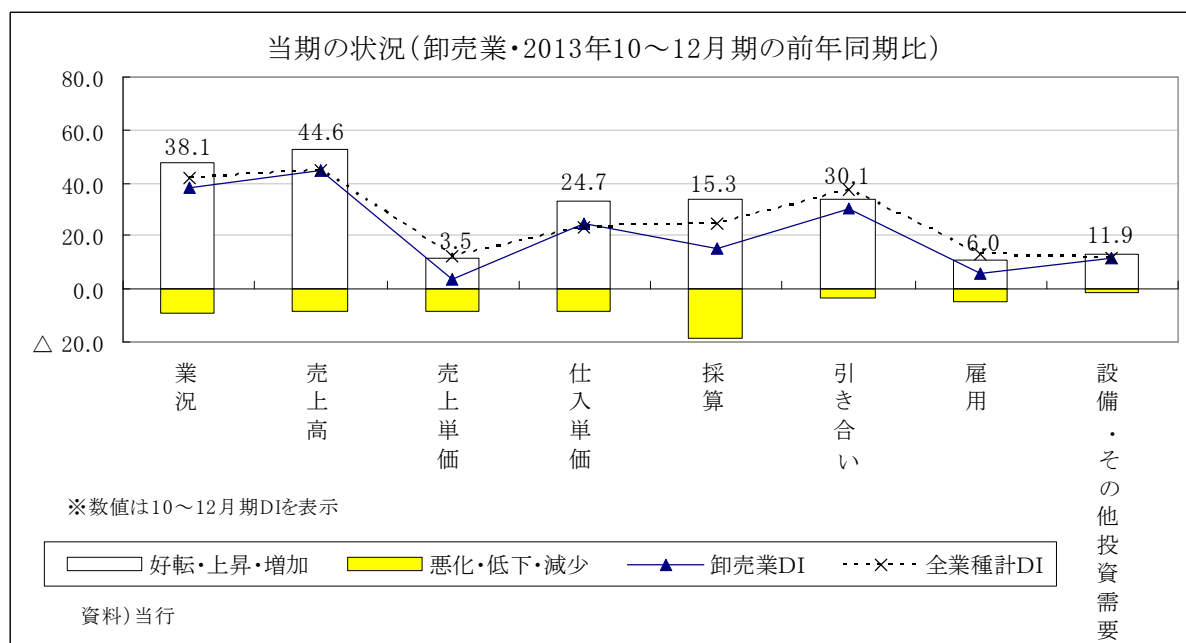
来期の見通し【建築業】DI をみると、今後も民間工事における消費税増税を見越した駆け込み需要や年度末に向けた公共工事の増加が期待されます。一方で、資材価格高騰や人員不足、物件引渡し時期の遅れを懸念する声も一部で聞かれます。建築全体として**業況改善の動き**がみられます。



5. 卸売業

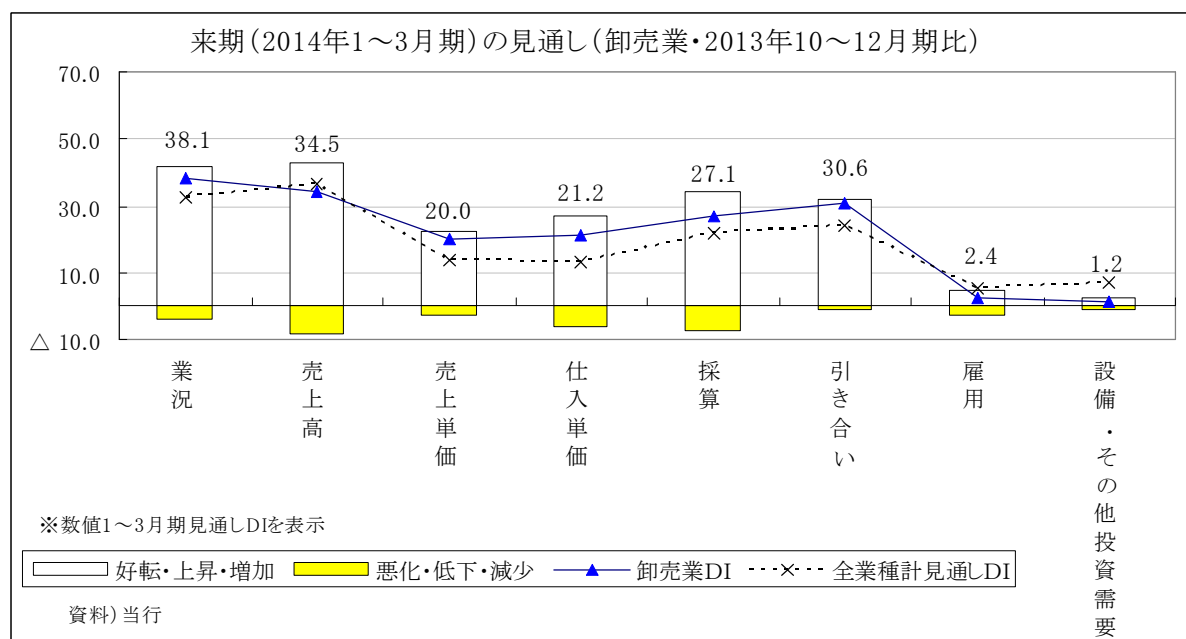
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【卸売業】DIをみると、公共工事や民間工事の増加を背景に、建築資材関連などで売上高や引き合いが増加しています。一方で、一部の事業者(食料品、建築資材関連)においては、円安の影響や原材料の相場高などにより仕入単価が上昇し、採算が悪化している事業者もみられます。卸売業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

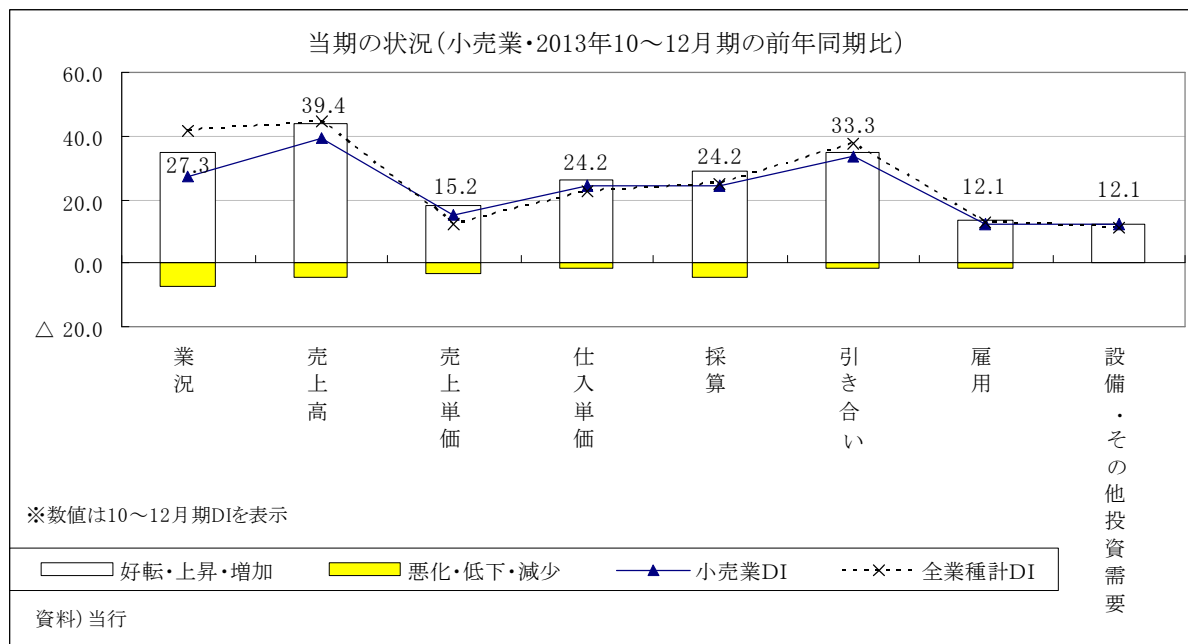
来期の見通し【卸売業】DIをみると、建築資材関連の卸売業者において、年度末に向けた公共工事の増加や消費税増税前の駆け込み需要などにより、引き合いの強さが見込まれます。また、一部では仕入価格の上昇分を、販売価格へ転嫁する動きも見られ、卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



6. 小売業

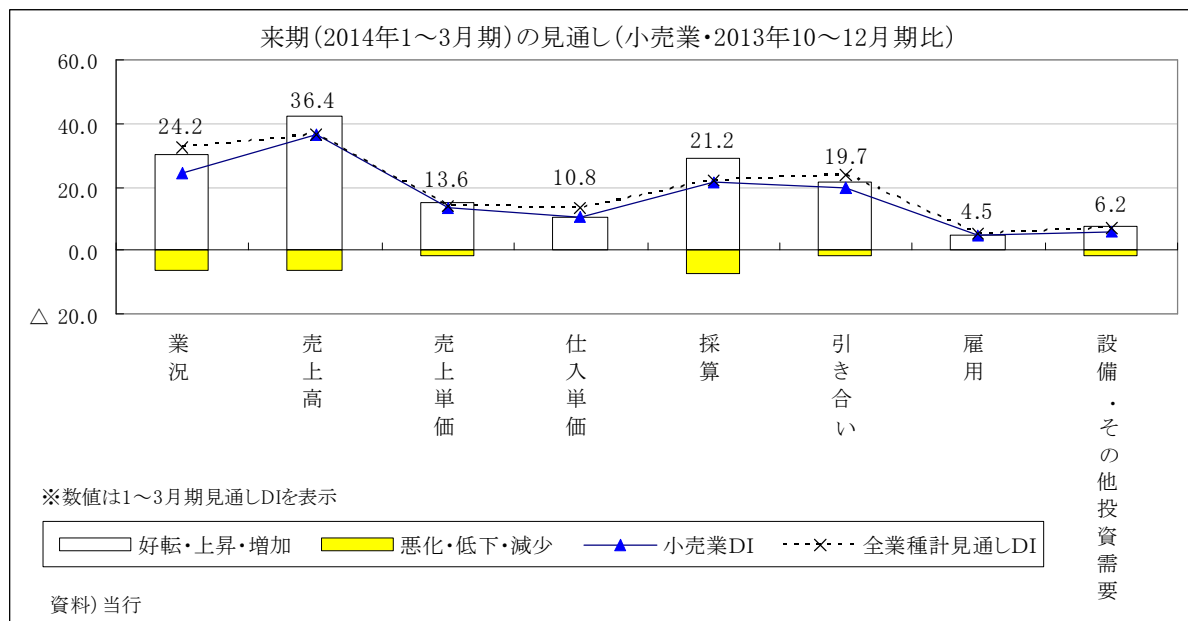
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、スーパーやコンビニエンスストアにおいて店舗リニューアル、新規店舗出店により売上高、引き合いが増加しています。また、自動車販売業では消費税増税前の駆け込み需要などから引き合い(問合せ、来店客数)の増加も見られます。小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

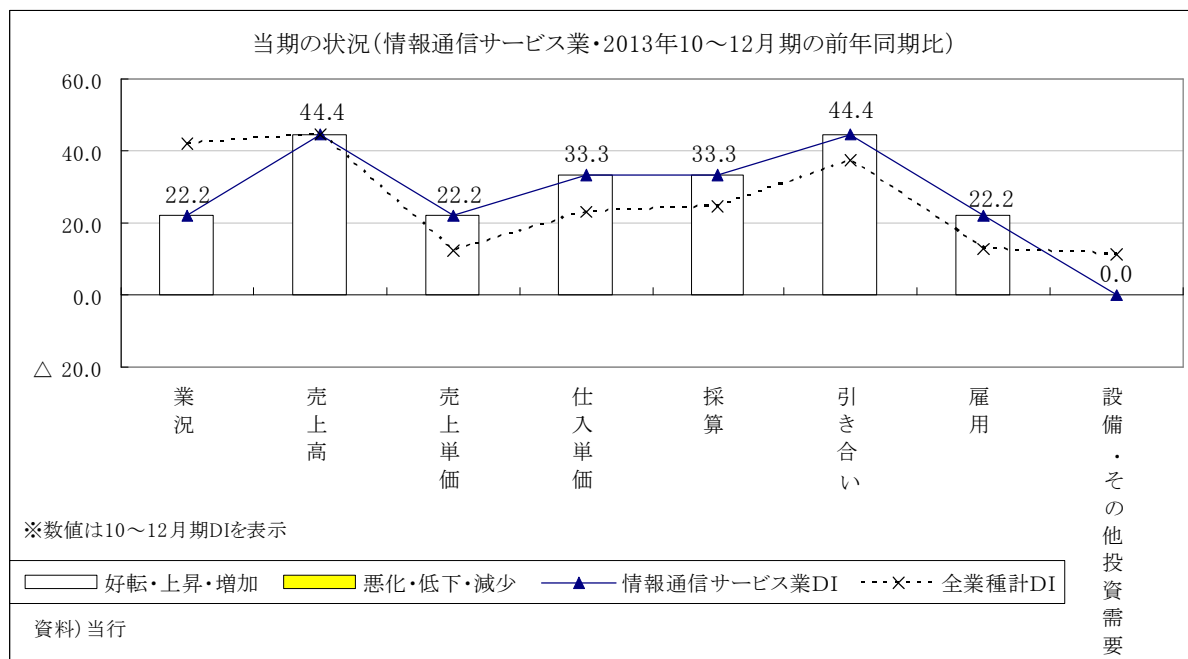
来期の見通し【小売業】DIをみると、引続き自動車販売業において消費税増税前の駆け込み需要が続くことが予想され、売上高や採算の改善が見込まれます。また、観光客の増加により観光土産品販売業などにおいても引き合いの強さが期待されており、小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



7. 情報通信サービス業

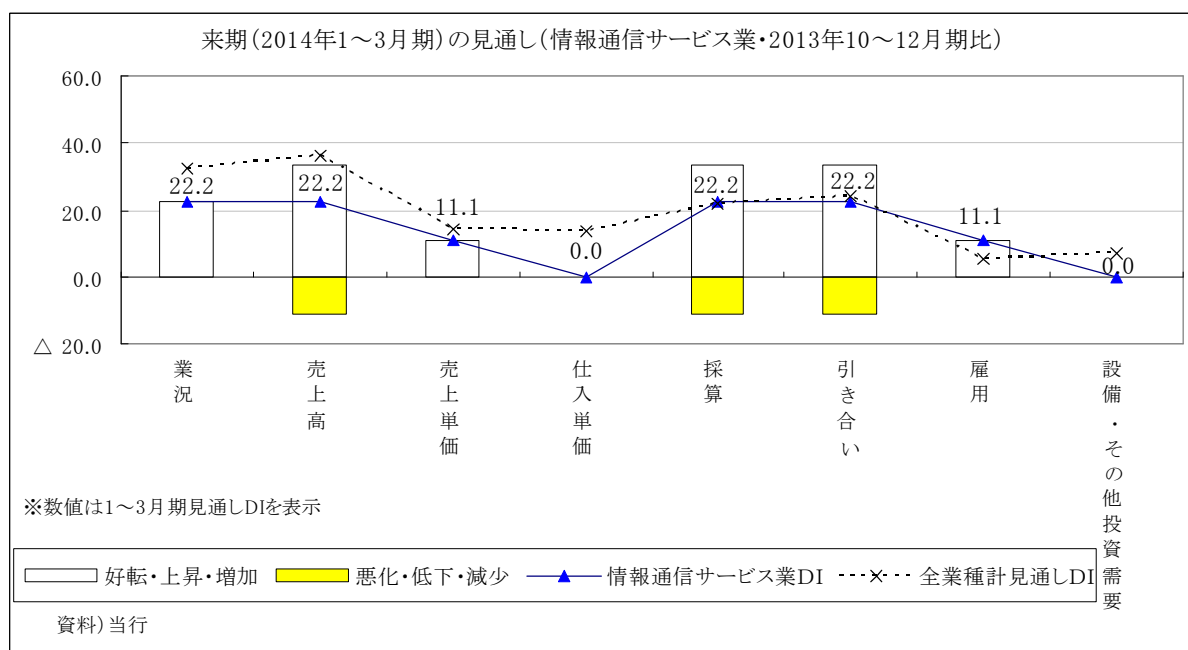
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、コンピュータソフトやITシステム開発など投資活発化の動きがみられるほか、求人募集を中心に広告需要の増加も一部でみられ、売上高や採算、引き合いは改善しています。情報サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

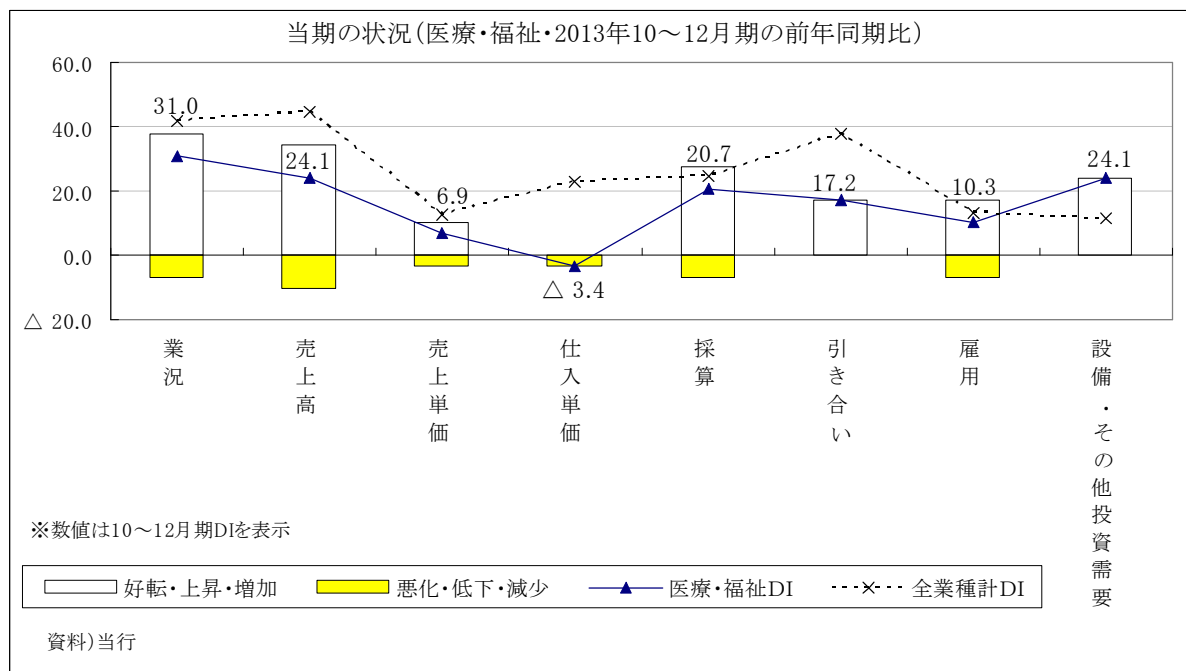
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、引き続きシステム開発などの受注が堅調に推移することが期待されます。売上高や引き合いの増加、採算の改善等が見込まれ、情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



8. 医療・福祉

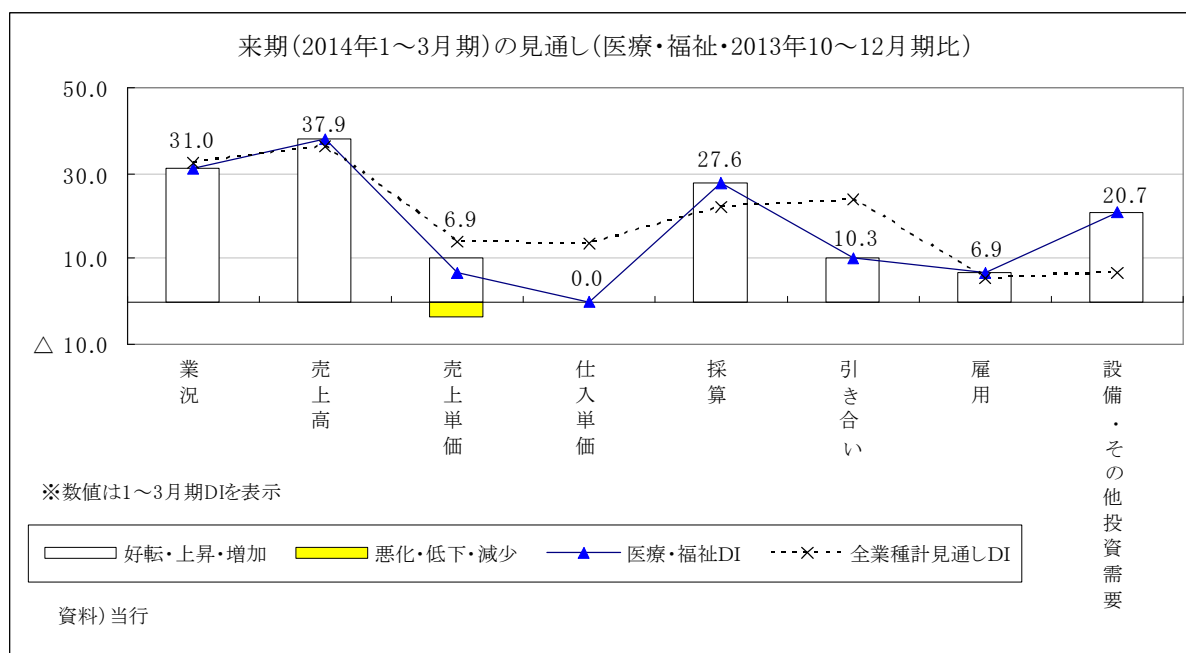
a. 当期の状況 (2013年10～12月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は引き続き堅調に推移しています。新たな病棟や介護施設の開設などを背景に投資需要は増加しており、全業種DIを上回っています。売上高や採算も改善しており、医療・福祉全体としては**業況の堅調さ**がみられます。



b. 来期の見通し (2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

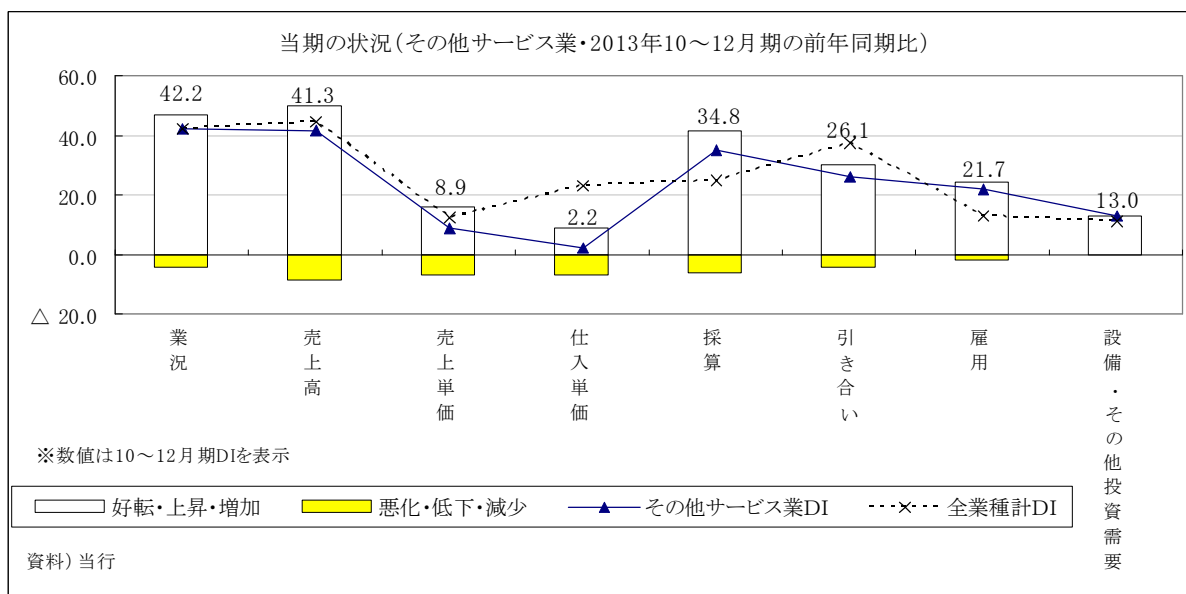
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、季節的要因により患者数増加が予想され、売上高の増加が見込まれます。患者数増加に対応するため、医療機器を導入するケースもみられ、投資需要は増加しています。医療・福祉全体として引き続き**業況の堅調さ**がみられます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

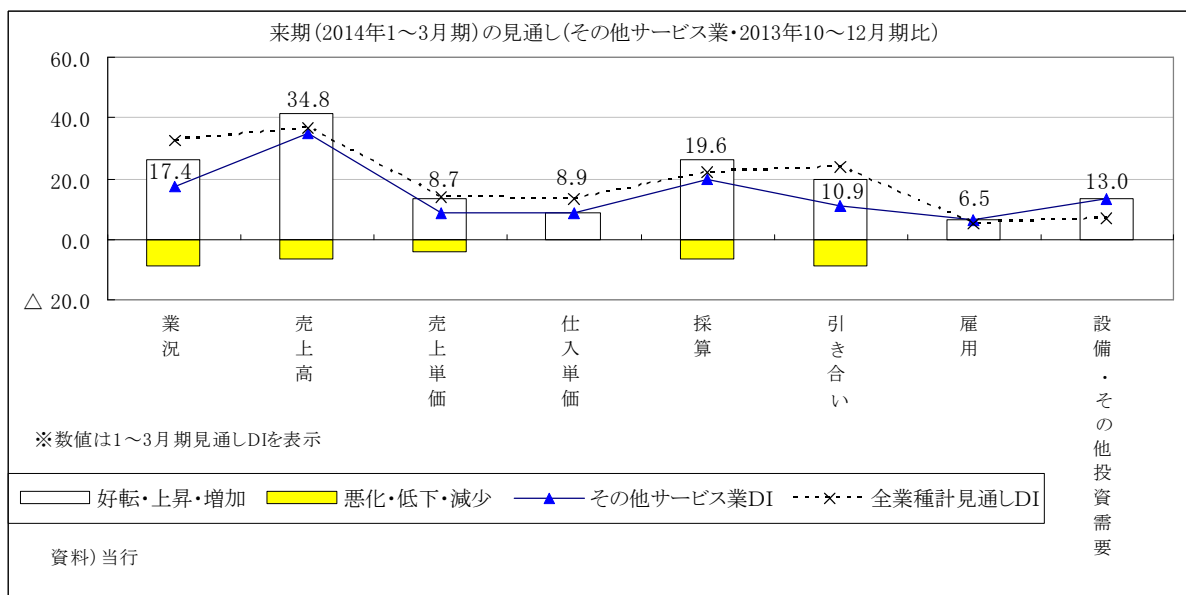
a. 当期の状況(2013年10～12月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、観光需要増加などにより旅行代理店や宿泊業、飲食業などで売上高や引き合いの増加、採算の好転がみられます。また、一部の事業者(飲食、娯楽、教育)では新規店舗の出店効果も加わり、その他サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し(2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

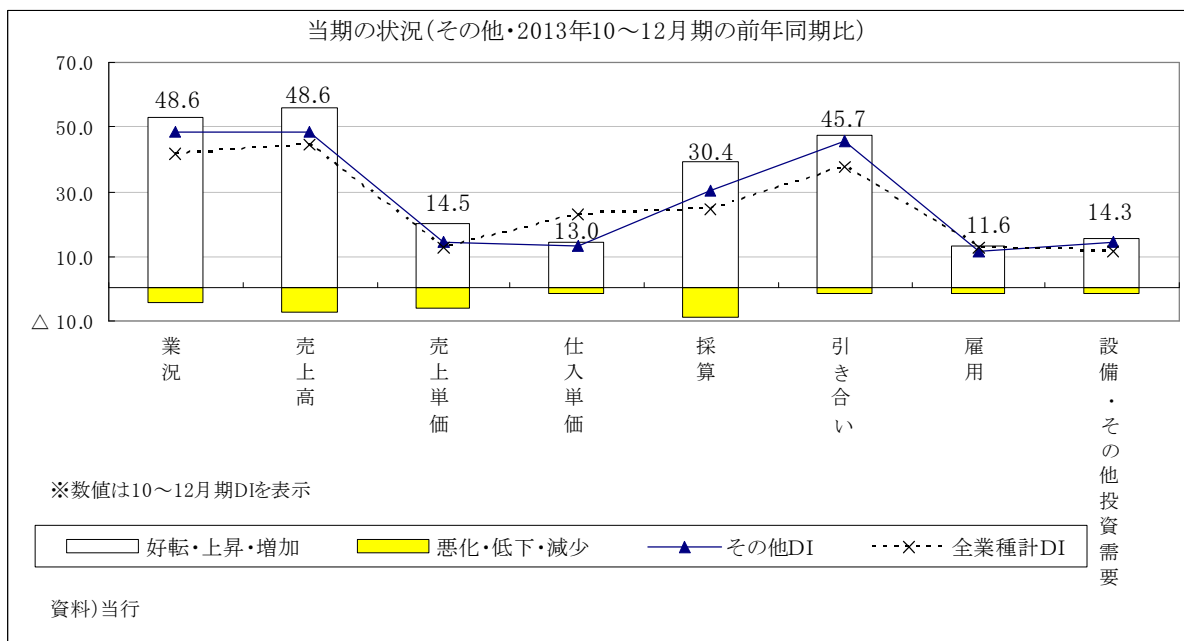
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、観光のオフシーズンとなるものの、プロ野球キャンプ効果により宿泊業などにおいて売上高の増加が期待されます。また、修学旅行など団体客の需要を見込む声もあり、その他サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

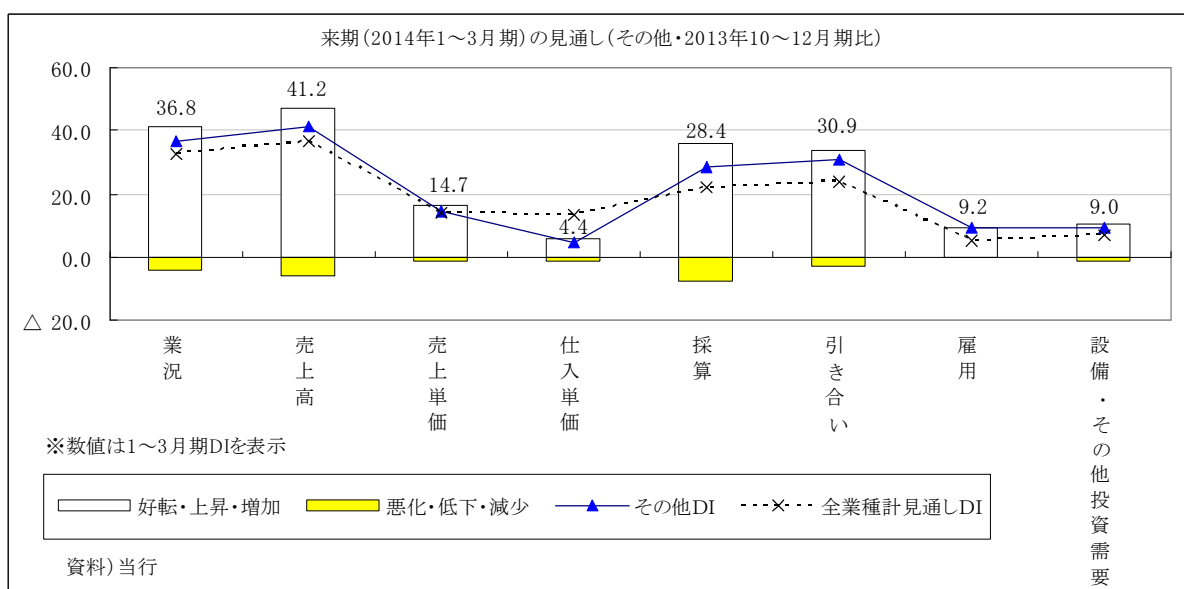
a.当期の状況(2013年10~12月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、不動産業などにおいて、消費税増税に伴う駆け込み需要が見られます。また、公共工事の増加なども影響し、測量・設計業、リース業(重機等)においても需要が増加しており、その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b.来期の見通し(2014年1~3月期の2013年10~12月期比)

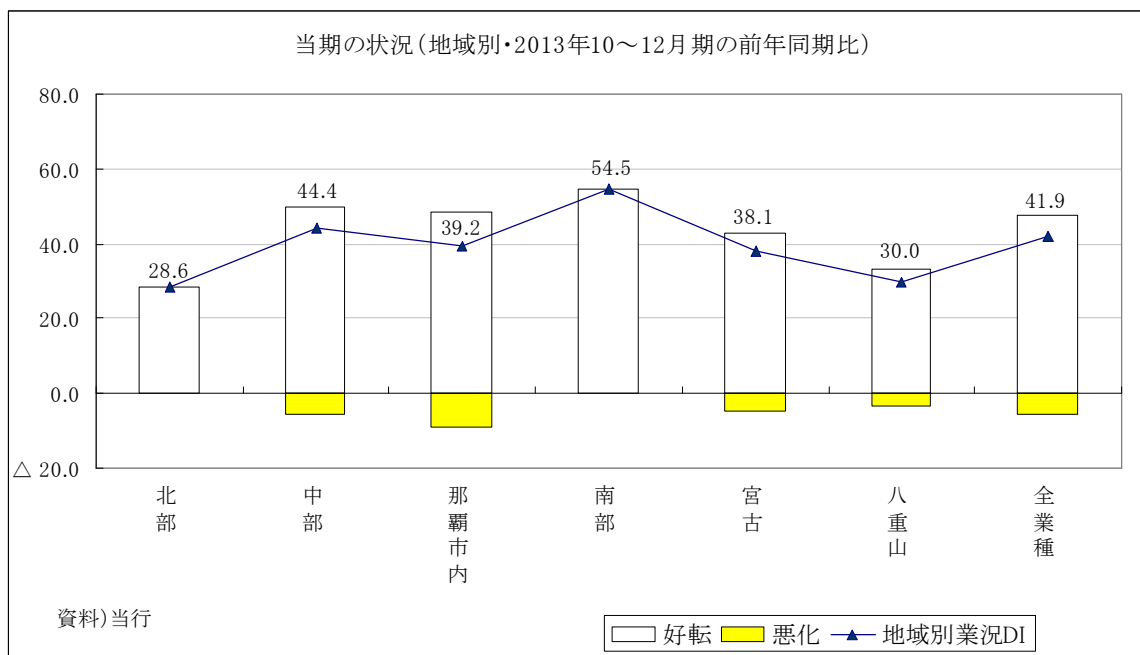
来期の見通し【その他】DIをみると、引き続き消費税増税前の駆け込み需要などにより不動産売買・管理業において引き合いの強さが見込まれます。また、年度末に向けた公共工事の増加などにより、測量・設計業において売上高の増加、採算の好転が期待されます。その他全体として**業況改善の動き**がみられます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

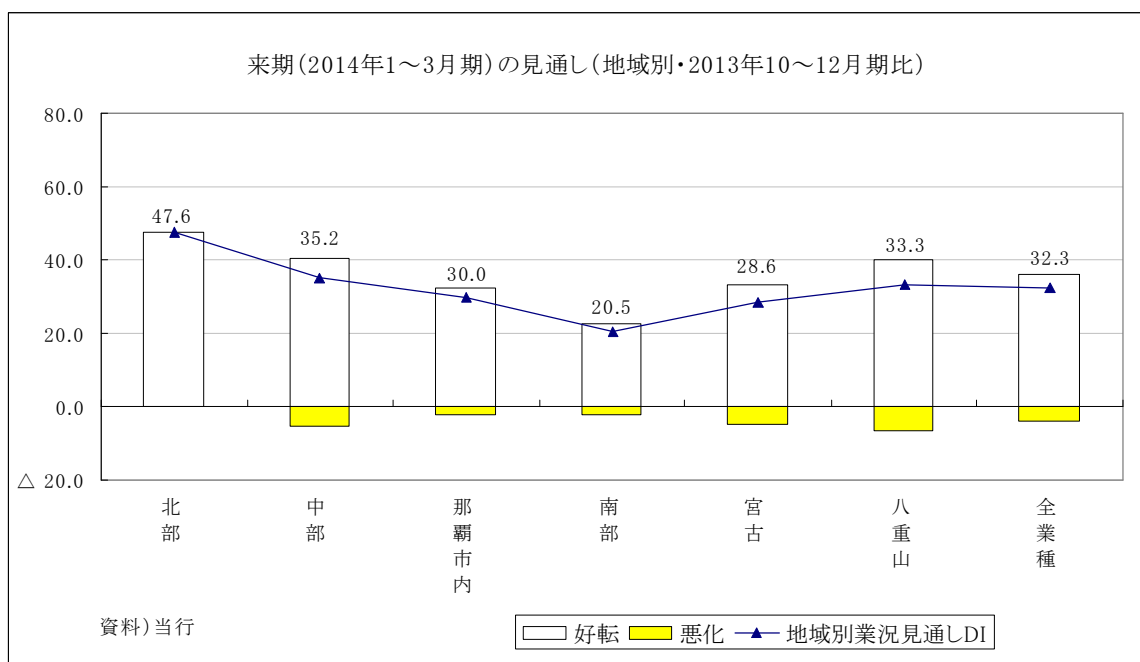
1. 当期の状況(2013年10～12月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、消費税増税前の駆け込み需要や公共工事増加の影響により建築業、不動産業などが好調で、全ての地域で業況改善の動きとなりました。また、自動車販売業、事務用機器販売業などにおいても駆け込み需要が見られており、徐々に消費税増税の影響は様々な業種に広がり始めています。



2. 来期の見通し(2014年1～3月期の2013年10～12月期比)

来期の業況見通しDIをみると、公共工事の増加や消費税増税前の駆け込み需要などにより、全ての地域で業況が改善することが期待されます。来期は、様々な業種で駆け込み需要が予想されるほか、プロ野球キャンプのシーズンでもあることから、多くの地域でプラス効果となることが期待されます。



IV.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2013年10～12月期）の業況DI調査の結果は、前年同期比で41.9ポイントと業況改善の動きとなりました。
- ② 観光関連（飲食業、宿泊業、旅行代理店業）では、入域観光客数が堅調に推移（10月＝4.5%増、11月＝6.3%増：いずれも前年同月比）していることなどから売上高や引き合いが増加しており、全体として業況改善の動きがみられました。
- ③ 建設関連（土木業、建築業）では、公共工事の受注の増加に加えて、消費税増税前の駆け込み需要により住宅関連等の民間工事が増加傾向にあることから、業況は好転しています。また、不動産業や測量・設計業においても業況は好転しています。一方で、土木業においては、一部の事業者で外注費や資材価格の単価上昇による採算の悪化もみられます。
- ④ 小売業では、スーパーやコンビニエンスストアが店舗リニューアル、新規店舗出店効果などにより堅調に推移しています。また、自動車販売業では、消費税増税前の駆け込み需要による引き合い（問合せ、来店客数）の増加もみられます。
- ⑤ 卸売業については、公共・民間工事増加などにより建築資材関連で引き合いや売上高が増加しており、全体では業況改善の動きがみられました。一方で、建築資材や食料品などを取扱う一部の事業者においては、円安の影響や原材料の相場高による仕入単価の上昇、採算悪化もみられます。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2014年1～3月期）の見通しDIについては、32.3ポイントとなりました。当期（2013年10～12月期）より改善されることが期待されます。
- ② 観光関連では、観光のオフシーズンとなることから需要減少が懸念されるものの、プロ野球キャンプ効果や修学旅行などの団体客需要により、来期も引続き堅調に推移することが期待されます。
- ③ 建設関連においては、年度末に向けての公共工事の発注増加に加え、消費税増税を見越した民間工事（住宅・アパート建築等）の駆け込み需要が来期も続くことが予想され、業況改善の動きとなることが期待されます。一方で、土木業、建築業ともに来期は繁忙期となることが予想されることから、人員不足を懸念する事業者もみられます。
- ④ 小売業では、自動車販売業において来期も引続き消費税増税前の駆け込み需要が続くことが予想され、売上高の増加や採算の改善が見込まれます。また、観光土産品販売業においてはプロ野球キャンプ効果などによる引き合いの強さも期待されます。

